

コミュニティとともに成長



バリューチェーンを通じたコミュニティへの投資を行い、市場の拡大、ブランドの強化、地域コミュニティとの良好な関係を基盤とした事業の持続的な成長を実現します。

グローバル統一の社会貢献活動方針

地域社会と当社グループが共存共栄し持続可能な発展を行うため、2021年度、社会貢献活動に関する基本方針を策定しました。その中で、社会貢献活動のグローバルユニシアチブ「NIPPON PAINT Group Global Outreach Program」を立ち上げ、3つの活動の柱として、将来のステークホルダー育成を目的とした「Education(教育)」、社会的弱者の支援や職業訓練などを通じた産業の発展を目的とした「Empowerment(エンパワメント)」、地域社会やステークホルダーとの協働を行う「Engagement(エンゲージメント)」を定めました。

推進体制

2020年度はマテリアリティを推進するための会議体をグローバルと国内で発足させました。情報共有や協議を密に行うことで、グループ内の連携を一層進めています。

パートナー会社単位でも連携を図る取り組みが進んでいます。例えば、NIPSEAではアジア各国のパートナー会社を結ぶ会議体があり、さまざまなグローバルプロジェクトを推し進めています。2020年度は社会貢献活動に関するデータ集計に初めて取り組み、同年9月、若手ペインター育成プロジェクトとインドの貧困地域の女性を対象とした職業訓練活動が社会貢献活動分野でアワード「Asia Responsible Enterprise Awards 2020」を獲得しました。

社会貢献活動の柱と活動例

柱	内容	活動例
Education (教育)	将来の顧客や従業員などになり得る子どもや学生を対象とした活動	Asia Young Designer Awards (NIPSEA: 建築家、インテリアデザイナー志望の学生対象の国際コンペティション)、Dulux Colour Awards and Dulux Study Tour (Dulux-Group: 若手デザイナー対象のアワードと研修旅行)、日本ペイントマレットの社会貢献活動(日本ペイントHD)
Empowerment (エンパワメント)	社会的弱者の活動支援や職業訓練、才能ある個人の発掘を行う活動	n' Shakti (NIPSEA: インドの貧困地域の女性対象の職業訓練プログラム)、Ladies who paint (Dunn-Edwards: 女性の壁画ペインターを支援)、ニッペファン・ファーム(日本ペイント・インダストリアルコーティングス: 障がい者を雇用し、農園を運営)など
Engagement (エンゲージメント)	地域やステークホルダーとの協働、NGOとの連携、災害支援などを行う活動	新型コロナウイルス感染症パンデミック対応(世界各地: 地域の医療機関などにマスクや消毒液、フェイスガードなどを配布)、豪州の山火事対応(DuluxGroup、日本ペイントHD)、東京大学との産学協創協定(日本ペイントHD)

世界的疫病などに関する取り組み・対応

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、当社グループは2020年度、「従業員とその家族をコロナウイルス感染から守る」「世界中の事業を守るために資金繰りを確保する」「事業継続計画(BCP)を固める」の3つの方針を掲げて対応に当たりました。

医療機関への1,200万円分の物資支援(日本)、ペインターへの金銭的支援(バングラデシュ、インドなど)、抗ウイルス塗料の寄付(中国、タイなど)、顧客などへのマスクの寄付(各地)など、当社グループの事業やノウハウを生かした活動を展開しました。



物資到着直後の様子 居室で利用する研究員の方 先端感染症センター内の様子

写真提供: ガーナ大学医学部附属野口記念医学研究所

社会貢献活動の効果、影響

当社グループは単に社会貢献活動を行うだけでなく、活動が本業や地域社会に与える影響について重視する戦略的な展開を目指しています。

社会貢献活動への投資と成果・影響

	2020年度	集計項目	数値
	国・地域		19
グローバル	プロジェクト数	活動に費やしたお金	1,460万米ドル超
		活動に費やした時間	17万時間超
		活動に参加した社員・ボランティア	9,800人超
	成果・影響	活動に使用された塗料	174万リットル超
		影響を与えた方々	533万人超
		メディアカバレッジ	373万米ドル超

グローバル各地域での取り組みは、当社ウェブサイト「サステナビリティ」を参照ください。

<https://www.nipponpaint-holdings.com/sustainability/social/>

